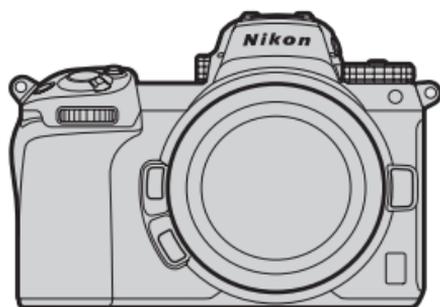
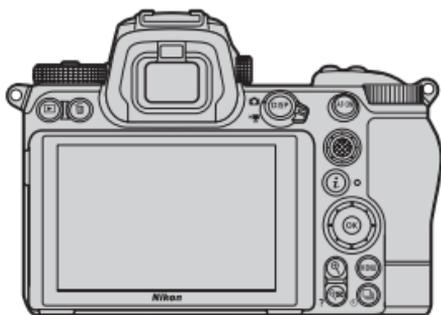


Nikon



Z 7 II / Z 6 II Professional テクニカルガイド -N-Log 撮影-



目次

N-Log について	3
● Log とは	3
● N-Log とは.....	3
● N-Log を使用して撮影するメリット	4
N-Log 撮影の方法	6
● N-Log 撮影の準備.....	6
● N-Log 撮影の手順.....	6
● カメラ操作に外部レコーダーを連動させる	10
● 簡易的な階調補正を適用した画像を表示させる	11
● 基準の露出の設定方法.....	12

N-Log について

● Log とは

Log とは「Logarithm (対数)」のことで、光量を対数関数でデジタル化したものです。Log はネガフィルムの濃度特性が元になっており、より人間の感性に近い露光量の差を表現することが可能です。これを「Log 曲線」や「Log カーブ」と呼びます。

Log を使用した動画撮影を「Log 撮影」や「Log 記録」などと呼びます。Log 撮影した動画はポストプロダクションを前提としており、白とびや黒つぶれが起きやすいシーンでも階調を残した映像が記録できます。

撮影した動画をポストプロダクション工程でカラーグレーディングすることで、広いダイナミックレンジによる豊かな階調表現、色飽和の少ない広い色空間を活かしたハイクオリティーな動画品質を実現します。

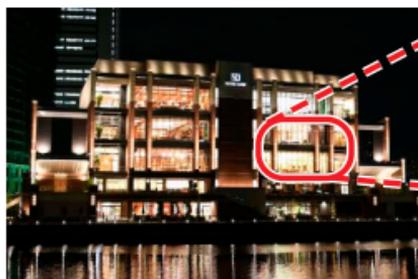
● N-Log とは

N-Log はニコン独自の Log 曲線で、センサーダイナミックレンジを最大限に活用することを目的とした技術です。シャドウとハイライトのバランスに優れ、10ビットのムービー収録に最適化されています。

● N-Log を使用して撮影するメリット

■ 白とび、黒つぶれを抑えた動画を撮影可能

屋内と屋外を一緒に撮影するような、明暗差のあるシーンでもハイライト側およびシャドウ側の階調とびを抑えた撮影が可能です。



N-Log を使用せずに撮影した動画。明るすぎる部分では白とびを起こしています。



N-Log を使用して撮影した動画。コントラストが低く見えますが、階調を保って記録されています。



カラーグレーディング処理を行った N-Log 動画。白とびも少なくなめらかな階調を保っています。

■ カラーグレーディングでさまざまな雰囲気仕上げる が可能

カラーグレーディングを行うことで、下の例のようにひとつの素材をさまざまな雰囲気に変更できます。カラーグレーディングを行うには対応する他社製の動画編集用ソフトウェアが必要です。



カラーグレーディング前の素材



N-Log 撮影の方法

● N-Log 撮影の準備

N-Log 撮影を行うには、10ビットに対応している外部レコーダーをカメラと接続します。HDMI 端子用ケーブルは、Type C のものを別途お買い求めください。HDMI ケーブルを抜き差しするときは、必ずカメラの電源を OFF にしてください。



● N-Log 撮影の手順

- 1 セットアップメニュー
[HDMI] > [詳細設定]
> [出力ビット数] で [10
ビット] を選ぶ

- ・ N-Log 撮影は 10ビットの場合のみ設定できます。



2

セットアップメニュー
[HDMI] > [詳細設定]
> [N-Log/HDR (HLG)
出力設定] で [N-Log]
を選ぶ



- N-Log 撮影時の動画は外部レコーダーにのみ記録されません。メモリーカードには記録されません。

3

外部レコーダーの入力設定を HDMI にする

- 詳しくは外部レコーダーの説明書をご覧ください。

4

動画の撮影を開始する

- 外部レコーダーと接続している場合、セットアップメニュー [HDMI] の [外部記録制御] を [する] に設定すると、カメラの動画撮影ボタンを押すだけで自動的に外部レコーダーで記録が開始されます (☞10)。
- カスタムメニュー c3 [パワーオフ時間] の [半押しタイマー] で設定した時間が経過すると、画像モニターが自動的に消灯して外部レコーダーにも映像が送られなくなります。[半押しタイマー] の設定は、動画を撮影する時間よりも長い時間を設定するか、[制限なし] にしてください。
- 動画撮影時に、簡易的な階調補正 (ビューアシスト) を適用してカメラの画像モニターに表示することもできます (☞11)。

N-Log 動画の撮影方法

N-Log 撮影時のご注意

- ISO 感度の下限は ISO 800 になります。
- 高感度 (Hi 0.3 ~ Hi 2) は設定できません。
- ピクチャーコントロールは設定できません。
- アクティブ D- ライティング、高感度ノイズ低減は [しない] に固定されます。
- モニターモードの設定に関わらず、撮影画面は画像モニターに表示されます。ファインダーには何も表示されません。
- 画像モニターにチラつきやざらつきが見えることがあります。
- オートフォーカス時にピントが合いにくくなりますが故障ではありません。
- シャッターボタンを全押ししても、静止画は撮影できません。
- Camera Control Pro 2 や SnapBridge と接続している場合は HDMI 出力できないため、N-Log 撮影ができません。

N-Log 撮影の画像サイズについて

動画の画像サイズやフレームレートによって制限があります。

画像サイズ / フレームレート	説明
3840 × 2160 60p (Z 7II のみ)	N-Log 撮影できません。
3840 × 2160 50p (Z 7II のみ)	
3840 × 2160 30p	• 画像モニターの文字やアイコンが粗く表示されます。実際に記録している動画には影響ありません。 • Z 7II の場合、撮像範囲を DX に設定すると画角が約 90% で記録されます。Z 6II の場合、常に画角が約 90% で記録されます。
3840 × 2160 25p	
3840 × 2160 24p	
1920 × 1080 120p	N-Log 撮影できません。
1920 × 1080 100p	
1920 × 1080 60p	制限なく N-Log 撮影できます。
1920 × 1080 50p	
1920 × 1080 30p	
1920 × 1080 25p	
1920 × 1080 24p	
1920 × 1080 スロー	

● カメラ操作に外部レコーダーを連動させる

外部レコーダーと接続している場合、セットアップメニュー [HDMI] > [詳細設定] > [外部記録制御] を [する] に設定すると、カメラの動画撮影ボタンの操作に連動して外部レコーダーの動画記録の開始と終了を行えます。



- お使いの外部レコーダーが対応しているかどうかは、外部レコーダーのメーカーにお問い合わせください。
- [する] に設定すると、カメラの画像モニターにアイコン（動画記録待機中：STBY、動画記録中：REC）が表示されます。動画を記録するときは、外部レコーダーの表示などもあわせてご確認ください。

● 簡易的な階調補正を適用した画像を表示させる

N-Log 撮影する場合、初期設定ではコントラストの低い色で画像モニターに表示されます。セットアップメニュー [HDMI] > [詳細設定] > [ビューアシスト] を [する] に設定すると、簡易的な階調補正を適用した動画がカメラの画像モニターに表示され、撮影している動画が確認しやすくなります。



ビューアシスト [する]



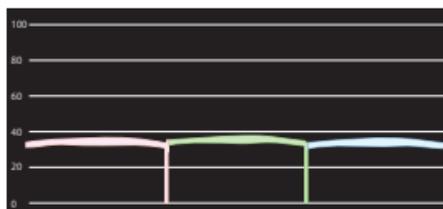
ビューアシスト [しない] (初期設定)

ビューアシスト画像について

カメラの画像モニターでの確認用に表示されています。外部レコーダーに出力している動画には影響ありません。

● 基準の露出の設定方法

接続している外部レコーダーによっては、波形モニターを表示できます。18% グレーのカラーチャートを撮影した場合に、ビデオレベル (IRE) が 35%、10bit コード値 (10-bit code value) で 372 程度になるように露出を合わせてください。



● N-Log の仕様書について

N-Log の技術仕様書（PDF）が次の Web サイトにて公開されています。

https://downloadcenter.nikonimglib.com/ja/products/558/Z_7II.html

Nikon